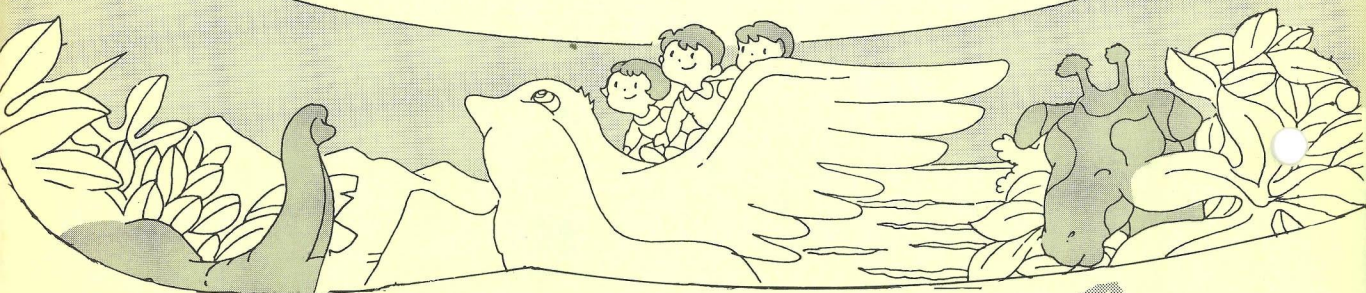


月刊 会報

# リサイクルデザイン

地球が与えてくれた贈り物を大切に  
リサイクル社会の実現をめざしたい



産業道路を川崎から都内に向けて走り、多摩川を渡つてすぐにその公園はありました。大田区萩中公園、通称ガラクタ公園です。広い敷地の中は、芝生や自転車専用道路、遊び場などに分かれていてレストランもあり、子どもを連れて行けば一日中遊んでいても飽きない所です。そして何より目を引くのは、遊び場にいるいる置いてある乗り物です。蒸気機関車や大型バスに混じってジープや船などが所狭しと並んでいます。ミラーやガラス、あるいは細かい部品などの危険物は取り除かれています。20、30年前には恐らく現役バリバリで動いていただろうと思われる姿には感動します。

ガラ  
クタ  
公園  
にて

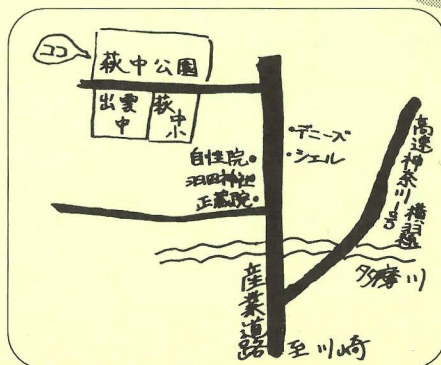


そして車の種類も様々なら、遊び方も様々です。タイヤの上から飛び降りたり、ボンネットの上で跳ねたり、それでもさすがに昔のボディーだけあってびくともしません。そしてそんなこともしばらくすると子

どもたちは飽きて、別の車へと移っていきませんが、お母さんたちは、いつまでもハンドルを握つたまま、子どもを見つめています。私もバスの運転席に座つてハンドルを握ってみました。何か子どもたちの戻つたような気持ちで短い時間にいるようなことを考えていたような気がしました。

子どもよりも大人が楽しめる、今はもう動くこともない物に心が動かされる、そんな不思議なガラクタ公園でした。

(山岡秀明)



水一言わずと知れた私たちが生きるためになくてはならないもの。無限の広さを持つ宇宙の中で、唯一この地球にしか存在しないもの：などとかかりきつたことを少々大げさに書きましたが、私たちの水でいどれくらいの水がこの水に対する単純明快なことを深く認識しているでしょうか。というのも、水は私たちの生活の中に自然に存在し、「あつて当たり前」という感じで水に対する「ありがたさ」がなくなっているように思われます。このことは普段の私たちの生活環境を見れば明らかです。そこで今回はこの「水」特に「水質汚染」に着目してみたいと思います。一般的に外国の水道水はほとんどが飲料に適さないため「ミネラルウォーター」がかなり前から普及してきました。そして遅ればせながらこの日本にも数年前から若い人々を中心にブームとなつていきます。

このことは現代人の自然派志向と健康ブーム、そして工場排水と生活排水があり、その高度経済成長を背景に、

## 『水のはなし』①

てカルキ臭くておいしくない「水道水」によるところが大きいと言えるでしょう。ではなぜ水道水はおいしくないのでしょうか。水道水の味や質は、その原水となる川や地下水、そして湖の水の汚れと深い関係があります。つまりそれらの水が汚れていければいるほど、浄水場で水をきれい

工場排水による河川の汚染が大きな社会問題となりました。工場からたれ流されたカドミウムが原因となつたイタイイタイ病、同じく水銀が原因の水俣病などいずれも多く死者や病人をだし、今なお裁判が続いています。その後法律で厳しく工場排水を規制したため、工場からのたれ流しは減少しましたが、逆に規制のない生活排水が、下水道の普及の遅れもあってそのまま川や海に流れ込んでいます。東京湾の汚れの30、50%は生活排水によるものだということです。特に合成洗剤や漂白剤などの化学製品は分解しにくく、水を浄化する水生生物をも殺してしまつたために、河川の汚染を更に進めてしまつた原因にもなつています。最近では天然の原料を使った洗剤が開発され出回つてきていますから、こちらを利用すべきでしょう。

＊参考文献

「地球環境と人間」清水 潔著

### リサイクルデザインフォーラム

## 古紙回収10万トン大作戦！

現在横浜市内の集団回収における古紙の回収量は年間7万トンです。(平成5年度)これを10万トンまで上げようというテーマで、市内で発生する家庭系古紙について市民・行政・組合員と共に何が出来るか、どうしたら古紙が10万トンリサイクルされて、ゴミが10万トン減るかを一緒に考えていきたいと思います。

#### パネリスト●

横浜市環境事務局事業推進部減量化推進室 室長

細 谷 五十二

横浜市環境事務局南事務所 副所長

増 田 一 行

若葉台環境ゴミ問題を考える会 代表

鬼 塚 涼 子

横浜ゴミを考える連絡会 代表

若 宮 静 江

横浜市資源リサイクル事業協同組合 理事長

中 野 聡 恭

横浜市資源リサイクル事業協同組合古紙委員会 委員長

小 塚 敏 文

コーディネーター●

ダイナックス都市環境研究所 代表

山 本 耕 平

日 時●平成7年11月5日 会場受付 14時  
フォーラム 14時30分～16時30分

会 場●かながわ労働プラザ

3F多目的ホールA・B(旧勤労会館)

JR根岸線石川町(北口)下車徒歩3分

内 容●\*集団回収(横浜市)の現状  
\*組合員(回収業者)の現状  
\*一般参加型回収システムの検討

参加費●無料

定 員●300名(先着順)

参加希望の方は、下記事務局へ10月31日までに、電話及びFAXでお申し込み下さい。

横浜市資源リサイクル事業協同組合

TEL(045)316-4050 FAX(045)316-6050

エコサイクル  
12か月

第10回

『植込みに  
とぎ汁を』

暑くて長かった夏が過ぎ涼しくなつたころから、植込みの立ち枯れが目立ち始めました。水不足です。何もない場所ならともかく、家や店の立ち並ぶ通りの植込みが枯れているのを見るたび、どうして? と思います。忙しくて植込みなど目に入らないのかしら。それとも自分の家の庭木でないから気にならないのかな。

緑がたつぷりある通りは、住んでいても歩いてても気持ちがいいはず。夏の高温の原因のアスファルトだって、木陰の所をさわつてみるとひんやりしています。逆に赤茶けた枯木の通りはなんて寂しい眺めなのでしょう。

私の庭の木や花は雨が降らなければ水をやります。公道の植込みの水やりは公がすべきことで、私がやることではない、というのが一般的な感覚なのかもしれません。確かに造園工事や草木の植込みは熱心にされてい



とぎ汁は草木に

ますが、維持管理となると公園くらいしか見かけません。以前名古屋市の通りに住んでいた時は、夜遅く散水車の音が聞こえていました。横浜市ではどうなのでしょう。立ち枯れの状況を見ると、充分な対策はとられていないようです。

公的な範囲は税金で賄つたのが本来の形であるにせよ、なかなか万全とはいきません。それに公とは私と関係のない他ではなく、私を含むみなではないかと思うのです。公は分けなければならぬということもありますが、切り離さず共にの方向性がこれからたくさん出てきそうです。

8月末の新聞に、市からのお願として、公道の植込みに米のとぎ汁や風呂の残り湯を撒いてもらいたいという記事が載りました。市としては一石二鳥をねらつたのかなと思ひ、共感を覚えました。公道への水撒きは子供への環境教育の材料にもなりそうです。公の部分はみんなに責任があることを認識する機会が与えられれば、やまやガムのボーイ捨ては減っていくかも

しれません。公道でタバコを吸つたり、吸い殻を捨てたりの問題が先でしょうが...



ササキミチコ

# 再生紙を使ってみませんか! 自然に思いやりを!

私たちの資源回収で生まれた新聞古紙90%を含んだ再生紙です。

真から地球環境保護にこだわり、白色度を抑さえ、水質・大気汚染をなくすよう配慮しました。再生紙を使うメリットは、**省エネルギー・ゴミの減量化・森林保護に役立ち、しかも経済的**です。私たちの願いは1つ、地球の未来を考え、住みやすい環境をつくることです。

| 商品内容 | 商 品                           | サイズ | 入数   | 規 格                        | 5～9 ケース | 10ケース以上 |
|------|-------------------------------|-----|------|----------------------------|---------|---------|
|      | 新聞古紙90%<br>コピー用紙              | A4  | 2500 | 白色度 70% 白                  | 1,780   | 1,710   |
|      |                               |     |      | カラー：ピンク、イエロー、<br>グリーン、サーモン | 3,120   | 3,000   |
|      |                               | B4  | 2500 | 白色度 70% 白                  | 2,680   | 2,580   |
|      |                               |     |      | カラー：(A4)<br>+パープル、ブルー      | 4,680   | 4,500   |
|      |                               | B5  | 5000 | 白色度 70% 白                  | 2,680   | 2,580   |
|      |                               | A3  | 1500 | 白色度 70% 白                  | 2,130   | 2,050   |
|      | β-ONハイパーフォーム15 11<br>コンピュータ用紙 |     | 2000 | 白色度 60% 白<br>(新聞古紙83%)     | 2,450   | 2,350   |

平成7年9月現在

\* 上記価格は、1回の注文につき各種(各サイズ)込みの1ケースあたりの価格です。

★送料無料 ★消費税別途

\* 5ケース未満は送料別途となります。

●配送は、受注後2～3日以内配達致します。  
(土、日除く)

【注文先】

横浜市資源リサイクル事業協同組合

TEL.(045)316-4050  
FAX.(045)316-6050

## オフィス古紙 回収事業

8月回収実績  
(参加企業10社)  
**9,360kg**  
でした。

## アルミ缶店頭 回収実績

(横浜市内スーパー106店舗)

8月回収実績  
**73,520kg**  
(4,670,000缶)  
でした。

## リサイクルに伴う標準価格表

(平成7年9月現在)  
(取引条件により多少の変化はあります。)

| 品名   | 買入金額      | 業者の売値          |
|------|-----------|----------------|
| 新聞   | 1kg 0～1円  | 1kg 7～8円       |
| 雑誌   | 1kg 0円    | 1kg 2～3円       |
| 段ボール | 1kg 0円    | 1kg 8円         |
| 衣類くず | 1kg 0～1円  | 1kg 5円         |
| アルミ缶 | 1kg 5～15円 | *アルミ缶のみを選別した場合 |

★この価格は、500kg以上集まる団体に適用されます。(個別回収は適用外)

★業者の売値は、9月28日「日経新聞」より。

### 集団回収以外の段ボールの標準回収手数料

★集団回収以外で段ボールの回収を依頼されますと1回3000円以上の手数料を頂いてます。  
但し、段ボールは、束ねて出してください。

## 組合新規 加入者

有限会社 一守商店  
代表者 深澤守昭さん

〒236  
横浜市金沢区鳥浜町12-32  
TEL (774) 8141

主に鉄を扱ってます。

## 今月のひらり

### 『他を見、我を見』

広大な歴史の国中国へ行ってきました。しかも、観光客が来るところではない  
広東省広州市の黄埔(フンブー)という港町へ。

中国は今回で2度目の訪問となりましたが、前回北京・上海・大連と現在の中心都市やすでに日本との合併企業が多数設立され、かつ外国企業誘致を積極的に行っている都市を訪ねたので、それはそれで感激と勉強を、かなりびっくりする事実と遭遇してきましたが今回はそれを上回る刺激をうけました。滞在日数もわずか1日半という過密スケジュールのため、本当のことはわからなかつたのですが、それでも・・・決して街はきれいではありません。しかし、

「捨てる」ゴミがない。

くだいようですが、本当のことは1ヶ月滞在してみないとわかりません。けれども街を歩き一般廃棄物の捨て

られている場所、収集光景、ごみの組成を単純にみても「ない」。生活形態が違うから、経済発展が違うから、(処分する)土地があるから、の一言では片付けられない何かがあるような気がしてなりません。訪問した主目的は廃棄物を破砕した後の処理方法に關しての調査でした。ここでも私たち若い年代の人間にとつては諸先輩の通ってきた道程を直に見ることができ、今まで会話として聞かされていなかった事実を体験できたことは大きな財産になっていくと思います。無論、技術の日進月歩に対応していく頭脳を鍛えていくことが優先されるべき事実ですが、わが国で展開されている「リサイクル運動」は多分に「他人のせい」にする傾向がみうけられがちで、このままで良いのか否か、もっと公開しなければならぬ事実がいくつかあるのではないかと(などなど)。

もっと違う角度から再認識する事実がたくさんあるような気がします。特に市民運動リサイクルでは。

現在の中国進出の要因として、「人件費」という項目がかなりのウエイトを占めているのも、また事実。経済ベース(コスト)を考慮してリサイクルをしていくならば避けて通れない項目であり「企業」としては最も苦心するところです。確かに日本と比較すれば・・・比較するとガツクリ。うなづいてしまいます。たつた2日ですが、見て、聞いて、確かめての繰り返しをもっと若い世代はしていかないと、「いずれ中国に遅れをとることがありえることも」・・・とにかく今回は海外資本がほとんどはいってない場所だったので、今までしてきたことに対しての反省とこれからの課題がほんの少しでも見えてきたことが大きな収穫かもしれません。

中身の無い文章で失礼ですが、率直に感じたことをお知らせします。また必ず再訪してみたい、活力のある国でした。  
(武松昭男)